

土岐市地域福祉計画案（第2期）に対するパブリックコメントの実施結果について

No.	ご意見	回答・市の考え方等
1	<p>私は主人と子どもが3人の5人家族で、長男が自閉症です。 ですので、障がい関係の事を書かせていただきます。</p> <p>12年前に引っ越して来る直前に子どもに自閉症という障がいがある事がわかりました。</p> <p>県を越えると情報も全くなく、専門病院の情報も事前に電話で問い合わせていたのですが実情とズレた情報だった事が後になってわかりました。引っ越した後もそういった事はよくありました。</p> <p>実際に障がいをもった子どもを持ち、そのサービスなどを本当に使っている方に聞かなければ情報が得られないと実感しています。そういった意味でも親同士のネットワークが欠かせないと思います。</p> <p>福祉の政策自体が目まぐるしく変わり始めた頃でしたから仕方なかったのかもしれませんが… 現在でも福祉関係の法律は変わり続け…理解するのに苦労しています。</p> <p>障がいは治る事も無いですが、子どもの障がいの場合は成長に伴って変化していくので、数年でお世話になった担当の方が居なくなると残念です。専門職で固定だと良いのに…と思います。</p> <p>障がいを社会に理解してもらおう事も必要だと感じています。普段から社会で、また災害などの緊急時にトラブルを避けるためにも… わが子の経験からすると、小さいうちに同じ場で一緒に育ってきた事が一番良かったと思います。</p> <p>保育園は加配の先生に付いて頂き、小学校は地元の小学校の支援学級で過ごしましたが、先生の適切な支援があれば他の子ども達と良好な関係を持てました。</p> <p>交流ももちろん必要ですが、障がいのある子の良い部分を見せられる形や、困難さを体験してもらう形で出来たら良いと思います。慣れない場所で緊張して適切な行動が出来ない所を見せるだけ…になってしまうと残念です。</p> <p>いろいろと困った事はありましたが、引っ越してすぐに療育センターに通えた事や、支援費の居宅介護・日中一時支援などのサービスを利用できるようになった事でとても助けていただきました。他兄弟も放課後学級や妻木保育園での一時預かりを利用したりして、通院や行事をこなす事ができ感謝しています。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。</p> <p>障がいをもったお子様についての支援体制については、早い時期からの適切な支援と、発達段階に応じた切れ目のない継続的な支援、保護者と関係機関との密接な連携、保護者同士の繋がり等があつてこそ、お子様の順調な成長を手助けできるという考え方が主流となってきています。</p> <p>当市においても、今後、子育てや障がいに関する個別計画にて、ライフステージに応じた継続的な支援体制を検討させていただきますので、ご理解の程、よろしく願い申し上げます。</p>